

認知症初期集中支援チームの活動状況について

1 事業概要

(1) 目的

認知症初期集中支援チーム（以下「支援チーム」という。）は、介護保険法に基づく地域支援事業として、認知症の人や認知症が疑われる人及びその家族に早期に関わり、必要な医療サービスや介護サービスにつなげることを目的に配置している。

(2) 支援チームの配置場所

- ア 東部地域：東部高齢者はつらつセンター
- イ 中部地域：中部高齢者はつらつセンター
- ウ 五日市地域：五日市はつらつセンター

(3) チーム員の構成

- ア 東部地域：専門医、保健師及び主任介護支援専門員 各 1 人
- イ 中部地域：専門医、看護師及び主任介護支援専門員 各 1 人
- ウ 五日市地域：専門医、看護師及び社会福祉士 各 1 人

※ 専門医（1 人）については、各地域を兼務する。

※ 地域連携型認知症疾患医療センター（あきる台病院）と連携するため、チーム員会議に相談員 1 人、派遣を依頼している。

(4) 活動状況

- ア 相談受付後、医療職と福祉職・介護職がペアで初回訪問を実施し、利用者基本情報シート・アセスメントシートを作成し、課題等の整理を行う。
- イ 課題等を整理し、支援チームの対象者と判断した場合は、認知症初期集中支援チーム連絡票により高齢者支援課に報告を行う。
- ウ その後、必要に応じて支援・訪問を行うとともに、毎月 1 回開催している、チーム員会議において、収集した情報とアセスメント内容により、支援方針、支援内容、支援頻度等を決定する。

なお、チーム員会議は、3 チーム合同で行い、新規事例以外の事例も経過報告し、今後の支援方針を検討するとともに、支援の終了についても判断している。

2 活動実績（令和5年4月1日から令和5年12月31日まで）

担当地域		東部		中部		五日市	
チーム員会議数		6 回（定期チーム員会議）※年度末には実施 8 回となる予定					
対象者実人数		1 人		5 人		6 人	
対 象 者 分 類	① 認知症診断なし	0 人		2 人		4 人	
	② 医療サービスを利用していない	0 人		0 人		4 人	
	③ 介護保険サービスを利用していない	1 人		5 人		6 人	
	④ 認知症診断有るが介護サービス中断中	－		－		－	
	⑤ 認知症症状顕著で対応苦慮	－		0 人		－	
支 援 ・ 相 談 回 数	① 訪問	1 1 回		2 2 回		6 回	
	② 電話	2 2 回		1 7 7 回		3 5 回	
	③ その他	1 回		0 回		6 回	
終了件数		1 件		5 件		1 件	
終了後の対応		CM へ引継	0 件	CM へ引継	4 件	CM へ引継	0 件
		医療機関	1 件	医療機関	1 件	医療機関	0 件
		包括へ引継	0 件	包括へ引継	0 件	包括へ引継	1 件
		その他	0 件	その他	0 件	その他	0 件

※対象者分類及び終了後の対応は、複数に該当する事例有り。